

いきいき農林水産業者

部門	氏名（住所）	受賞理由
園芸	いしだ かずなり 石田 和成 (北栄町亀谷)	<p>①結婚を機に九州から妻の実家のある北栄町にIターン。3年余りの雇用就農を経て、平成31年に独立就農。</p> <p>②使われていない農地を借り受け、スイカを経営の柱に、小玉スイカ、ブロッコリー、メロン等を栽培。</p> <p>③堆肥を利用し化学肥料の使用を抑えた栽培を行っている。</p> <p>④令和5年～現在 大栄西瓜組合協議会検査員</p>
園芸	うさみ だい 宇佐美 大 (湯梨浜町中興寺)	<p>①令和元年に教員を早期退職し就農。就農当初から東郷果樹研究同志会に入会し、先輩生産者と情報交換や交流を深め、研鑽しながら技術向上に努めている。</p> <p>②令和3年から、作業効率向上のため新甘泉と王秋のジョイント栽培にも取り組んでいる。</p> <p>③同年から東郷果樹研究同志会の副会長となり、梨づくりの栽培技術向上に努めるとともに、先輩や若手の生産者と交流し、地域農業の維持、発展に貢献する担い手として期待されている。</p>
畜産	のぎ ひろこ 野儀 弘子 (倉吉市福山)	<p>①平成24年に夫が他界した後に経営を受け継ぎ、補助事業を活用し和牛肥育体系を確立。</p> <p>②素牛から鳥取県産にこだわり、「オール鳥取」和牛を生産。</p> <p>③飼料給餌の見直しやきめ細やかな飼育管理により、令和3年から5等級率90%以上、枝肉重量530kg以上を維持するなど県内でもトップクラスの実績を誇る。</p> <p>④令和5年6月開催の「鳥取和牛」宣伝販売会では最高位の金賞を受賞。今後も「鳥取和牛」ブランドの牽引役として期待がかかる。</p>
園芸	のま きよただ 野間 清忠 (大山町殿河内)	<p>①大山町果実部副部長兼大山梨選果場長として、果実部および選果場の運営に日々尽力しており、新甘泉やなつひめ、王秋、輝太郎を先駆けて導入してきた。</p> <p>②複式簿記をもとに経営分析を行い、新品種の収益性の高さを確認し、その成果を産地の生産者と共有したことで、産地全体に新品種が広がるきっかけとなった。</p> <p>③下市駅南防除組合で共同防除を行うことで作業の効率化を図り、新たに松山団地にも入植して王秋、なつひめ、輝太郎に植え替え収益性を向上する等、意欲的に取り組んでいる。</p>

部門	氏名 (住所)	受賞理由
農産 ・ 園芸	<small>やまさき</small> 山崎 <small>かずえ</small> 一枝 (倉吉市富海)	<p>①平成 25 年～令和 2 年の間、JA 鳥取中央女性会大鴨支部の集落支部長と味噌加工委員を務める。</p> <p>②JA 直売所「満菜館」発足以前の「おがも朝市」の頃から自家栽培の野菜や加工品を出荷。イベント時には積極的に協力して、地域の住民にも喜ばれている。</p> <p>③大豆選果場にも出役し、フォークリフトの運転もこなす。</p> <p>④責任感とあたたかい人柄で、地元小鴨地区だけでなく他地区の方にも慕われている。</p>